

# センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1  
山村留学センター「四季の里」  
TEL : 0771-77-0232 FAX : 0771-77-0279  
E-Mail : [miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp](mailto:miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp)

## お好み焼き

2月23日、今日は天皇誕生日で学校はお休みです。相変わらずのコロナウイルスのまん延防止が続いているため、外出はあきらめてお昼ご飯に「お好み焼き」を作ることにしました。この一年間、コロナ禍の中なかなか遊びに行くことは出来ませんでしたが、センターで色々な食べ物を自分たちで調理する機会が増え、野菜を切ったり卵を割ったりの手際の素晴らしいこと。お家に帰ってもこの経験？を生かしてお手伝いをしてもらいたいものです。



## ひな祭り



3月2日、明日は桃の節句ひな祭りです。今年度24期生も昨年に引き続き女子の数が圧倒的に多く、男子は肩身の狭い思いをしたかもしれません。しかしこの日の夕食の「手巻き寿司」はしっかりと食べていた様子でした。また、保護者の方から雛あられやお菓子を送って頂き、家では味わうことが出来ない桃の節句、ひな祭りを十分味わうことが出来たようです。

## 退所旅行

3月5日、長きにわたるコロナ禍の中とは言え、「退所旅行も中止・・・」、ではあまりにも退所旅行を楽しみにしていた子供たちに申し訳ないので、一昨年・昨年と同じコースで宮津方面を周ってきました。日頃の行いの悪い人がいるのでしょうか？、この日も雨模様プラス強風の中、宮津ロイヤルホテルのお昼のバイキングでお腹を満たし、人混みを避けて天橋立ビューランドに寄ることもなく日本三景天橋立の砂浜をぶらついて来ました。この日ラッキーだったのは「廻旋橋」と呼ばれる天橋立と文殊堂のある陸地をつなぐ橋が1時間に1回船を通すために90度ぐいーんと旋回する場面に遭遇することが出来て子供たちの良い思い出になりました。



## お母さんの一人言

春の日差しがまぶしく感じる頃となりました。今年度も「コロナ禍」では「コロナ禍」で終わるといふ大変な事態の年度末となりましたが、おかげ様で山留生達は何んとか無事に1年を終えることが出来ました。お世話になった皆様方には厚く御礼申し上げます。来年度、最終年度となりますがもう1年頑張りたと思っています。どうか宜しくお願い致します。



## 美山で一年間を過ごして

美山に来て今までやったことがなかった川遊びや雪遊びが出来てとても楽しかったし、「とんど」や「節分」などの行事を色々な事を学びました。この一年間とても楽しかったです。

この一年で思い出に残ったのは家ではした事なかった川遊びです。川の水は思ったより冷たかったです。川の流れに乗って遊んでいると岩に引っかかって浮き輪から落ちたのが一番の思い出です。

一年間家族とはなれて最初はさみしかったけど、慣れてくると美山の生活が楽しく思えて来た。真っ白なやわらかい雪で雪合戦やソリ滑りをした事が一番楽しかったです。

この一年の思い出は川遊びと雪遊びです。川ではおぼれそうになったけど、またやりたいです。雪遊びは寒そうと思ったけど、みんなと遊んでいるとポカポカして楽しかったです。

2年間センターで過ごしてコロナ禍の中、色々な所に出かけたり出来なかったけど、川遊びや雪遊びなど、自然といっぱい触れ合うことが出来てとても楽しい思い出が出来ました。

今年はたくさん雪が降って念願のソリ滑りが出来ました。大阪では出来なかった事を楽しみ学びました。おばあちゃんとおじいちゃんが美山に来てなかったらこの経験は出来ませんでした。美山の事は一生忘れることはないと思います。

今年もアツという間に過ぎたけど楽しかったです。特にクリスマス会では色々な出し物をしたり美味しいご飯をいっぱい食べてお腹がふくれました。コロナ禍の中でも退所旅行に行けてうれしかったです。



平成3年度山村留学24期生が退所する日がやって来ました。子供たちにとっても、長いようで短い一年だったと思います。年度が改っても一向に収まりを見せない新型コロナウイルス。年明けからは新たな新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るって、今まで感染者が出ていなかった美山小学校にもとうとう感染が広まり、たびたび学級閉鎖となりました。そんな中で楽しみにしていた地域のイベントは中止となり、どこかの遊戯施設に遊びに行くこともままならず、センターで休日のお昼ご飯や3時のおやつを手作りしたりして、我慢の毎日を送って来ました。しかし、これらは美山町だけのことではなく日本国中、世界中が直面している事柄です。そんな中、何よりも残念だったのは2月、3月は里親さんにもほとんど行くことが出来ず、さみしい思いをしたことです。子供たちには今後この経験を活かせる時がきっと来ることを信じて新しい環境で頑張ってもらいたいです。センターは来年度25期生で最後となります。里親さんをはじめ地域の皆様方、どうぞ来年度も山村留学生をよろしく願いいたします。 指導員

### ご挨拶

皆様方には、いつも山村留学事業に特別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は例年にない大雪に見舞われ、又コロナ禍の中で令和四年を迎え、第二十四期生七名を送り出す時期となりました。子供たちも美山の四季を通じてセンターや里親さん、地域の方とのふれあいを肌で感じ心豊かな子供に育てられたと思います。この事業も、令和四年度(二十五期生)をもって閉校いたします。この一年間(二十五期生七名)最後の年として頑張りますので宜しくご支援賜りますようお願いいたします。

南丹市美山山村留学運営委員会

委員長 澤田 利通